

SHALOM-NETWORK

発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>
E-mail info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

シネリテラシー実践・報告

いいな広野わが町発見
—ふるさと創造—
映像教育プロジェクト

NPO 法人シャロームでは、シャロームの会員でもあり、シネリテラシー第一人者の日本映画大学特任教授である千葉茂樹監督と共にシネリテラシーの実践・研究を行ってきました。昨年引き続き、「いいな広野わが町発見—ふるさと創造—映像教育プロジェクト」として今年も広野町に映像制作の講師として、私、シャローム理事佐藤憲吉が行って参りました。シャロームでは、映画制作ワークショップ「夢をかたちに」として、シネリテラシーを軸とした映画制作ワークショップの実践（平成二十年）を行い、自主制作映画を発表してきました。シネリテラシーの実践・研究をしており、参加者の子どもの成長ぶりを実感しております。



▲▼ コミュニケーション能力の向上など、映画制作体験は子どもたちの成長に良い影響をもたらします。



える作品とすることを目標としています。また、その人物取材対象者を通じてあるいはその人物と取材する生徒たちの関わり合いを通して、ふるさとについて考えるきっかけとなるような作品を作ることが目的となります。

五班に分かれ、それぞれのテーマ毎に作品を作り上げます。私の担当は、「復興」というものでした。テーマとしては、重いテーマとなり、今回も前回の「火力発電所」同様、とても考えさせられるテーマです。今年は、去年の担当の先生方とは違う学年の先生方なので、教育の考え方

や方法論も多少違いがあり、私たち講師がこの映画撮影実習に入る前に、生徒たちはパソコンを使って「プレゼン」の練習をしたり、模造紙に「イメージマップ」を使ったりと、総合学習として色々な勉強をして準備をしていました。

その中で、「復興」をテーマにした生徒たちのイメージマップには、「大型スーパーができた」「防潮堤ができた」等新しい建物や景観整備等が「復興」のイメージとして描かれていました。講師として私は中学一年生にとつての復興とは何かを考えて欲しかったというところもあり、まず一から生徒たちと「復興」について話し合いました。「スーパーができたことが本当に君たちの復興なのか？」このことをきちんと考えてもらいました。

そして、今回出来上がった作品には、その答えが詰まっ

た作品となりました。機会があったらシャロームでも上映会をしたいと思えます。お楽しみに。(シネリテラシー担当・佐藤憲吉)

夏は太陽をいっぱいため込んだひまわりの花は、花びらを失い、黒く実った種の重みで頭を下げている。収穫を待っていた鳥たちも種に群がる。人と鳥との種をめぐる戦い、鳥の方が優勢のようである。実りの秋、これから来る厳しい冬に向けての準備が始まっている。

時の流れとともに、五月に芽を出し、八月には大輪の花を咲かせ、九月には種を実らせられていく、五か月という短いひまわりの一生。この五か月のひまわりの一生は、全国の人々に多くのドラマを残している。一つの命の一生に立ち会ふこと、そこには、生命の誕生と死に向き合う瞬間がある。水やりを忘れたために枯れさせてしまった。咲いた花を一夜にして台風がなぎ倒してしまった。...

自然と人間、人間と人間、時間をかけた交流が、お互いを理解し、掛け替えない存在へと変えていく。一粒のひまわりの種、そこには自然と人間の命の交流のドラマがある。(T.O)

愛のつぼみ 中